S子の「ふりかえりカード３」

ふりかえり３ ―― 9月 21日（月）

氏名 S子

1 明治政府を動かした人々はどのような国づくりをめざしたか、わかりましたか

わかった ―― どちらでもない ―― わからない

2 明治政府の国づくりで、特に印象に残っていることは何ですか

自由民権運動の言論の場

3 友達の考えで「おもしろいな」と思ったものがありますか

ない

ある

丁男 さん の 信頼できるように選挙する という考えがおもしろいなと思った

4 勉強した人物の中で印象深いのはだれですか 大久保 利通

その人へ手紙を書いてみましょう

外国へ初めて行った時、とても日本がおくれていてあせったでしょうね。でもそのおくれを直したのがえらいと思います。私は大久保さんをよほど"の負けずぎらいだなあと思いました。

S子の「ふりかえりカード６」

ふりかえり６ ―― 10月 5日（月）

氏名 S子

1 掛田についての学習は楽しかったですか

楽しかった ―― それは これから掛田はすごい、といわれるから だからです

楽しくなかった ―― それは いろいろとわからなかったことが解決できた だからです

2 歴史新聞づくりは楽しかったですか

楽しかった ―― どちらでもない ―― 楽しくなかった

3 自分の新聞で、よくできたな、がんばったなと思うところはどこですか

大橋イシさんの昔話と、阿部製糸のところ

4 掛田で生糸や養蚕にたずさわっていた人たちにどんなことを言いたいですか

安田利作さん こんなにすごい掛田をありがとうございました。

5 自分がいま掛田に住んでいることをどう思いますか

・うれしく思う
・田舎で少しはずかしかったけど、これから堂々と道を歩けるような気がする。

6 明治のころ以外の掛田について調べてみたいですか

調べたくない ―― それは だからです

調べてみたい ―― それは 今までのことが楽しかったから だからです

田舎で少しはずかしかったけど，これからは堂々と道を歩けるような気がする」と述べた。このように児童の関心が高まるとともに，その関心が連続しており，理解や考えが少しずつ深まっていることが分かった。

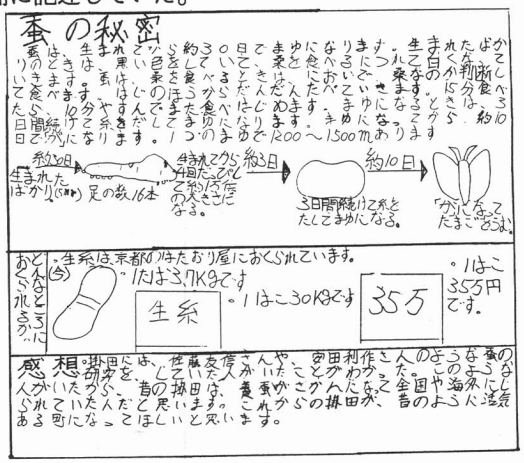
(ウ) 関心・意欲の持続と表現活動

「ふりかえりカード」に記入することを通して，児童は自分の取り組み方や興味・関心を認識し，次の学習の意欲へとつなげ，表現活動の充実に結び付けていることが分かった。地域素材を教材化した「掛田の生糸」の導入と調べ学習の後の「ふりかえりカード４」で，全員が掛田についてもっと調べてみたいことがあると答え，課題として次のことをあげていた。

掛田の発展に尽くした人々	20 名
昔の掛田の町の様子	6 名
昔の掛田の学校の様子	4 名
「おしら様」伝説	2 名

（欠席１名）

この興味・関心が次の「掛田フィールドワーク」での意欲や歴史新聞の内容へつながっており，24名の児童が掛田の発展に尽くした人々として，安田利作や佐藤友信などのことを歴史新聞で取り上げていた。これは，掛田の様子を調べ，さらに見学するという学習が児童に強い印象を与え，それが歴史新聞作りの意欲につながったものと考えられるのである。例えば，「ふりかえりカード５」で，H男は「蚕の成長や糸になるまでの様子を中心にまとめたい」と答え，それを次のよう歴史新聞に記述していた。



（H男の歴史新聞の一部）